

## 2024 年度:こども園自己評価の報告書 豊南西こども園

評価項目	取り組み状況
教育・保育方針と内容	<p>「てをつなごう こころつなごう ひろがれふかまれ えがおのわ！」を園の年間のテーマとし教育保育をすすめてきた。0 歳児から、5 歳児までの子どもたちが在園する中で、子どもも大人も互いに出会い、知り合い、互いの気持ちに寄り添いながらつながる機会を展開していく必要性を感じている。また、子ども一人一人が個性や持ち味の違いを認め合いながら友だちとつながる力をつける仲間づくりをめざす教育保育内容を実践していく。そのために必要な環境、遊びを年齢別のカリキュラムに反映していく。</p>
健康支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年齢・発達の時期に応じた保健指導を看護師と行った(体の仕組み、プライベートゾーンについて、生命の安全教育、歯磨き指導、手洗い、トイレの使い方など)。クラスの様子を見ながら必要に応じて行うことで、効果的に子どもたちが学ぶ機会となった。</li> <li>・生命の安全教育では、妊娠している保育教諭から、おなかの中の赤ちゃんの様子を伝えてもらい、命の大切さに気付く機会となった。</li> <li>・げんキッズでは、体幹づくり運動遊びの発展を学び、園の遊びの中に取り入れていくことができた。</li> </ul>
安全指導・危機管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月の避難訓練を様々な災害を想定しながら行い、職員間で反省し改善していった。今年度も、総合訓練時に豊南会館及び地域の方と共に南消防署の指導の下、水消火器訓練を行った。</li> <li>・近隣の豊南小学校へ避難する訓練も行った。避難経路の確認や小学校との連携につながった。</li> <li>・交通安全指導は、春には子ども達が DVD を視聴、紙芝居を見ることから安全に気を付けることを意識づけていく場とした。冬には園庭で模擬道路を作って安全指導を経験した。</li> </ul>
食育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども達が畑や、プランター、保育室で年齢に合わせ、工夫しながら野菜の成長を感じる経験ができた。</li> <li>・今年度は、給食の食材の下ごしらえに子どもたちが計画的に取り組んだ。0、1 歳児も玉ねぎの皮むきや、こんにゃくをちぎるなど給食に関わることで食に興味を持ち、楽しんで食べることにつながった。</li> </ul>
子育て支援（在園児および地域）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども達の園での活動、大切にしていることを伝えるために、配信アプリ、ドキュメンテーションで、園行事や各クラスの活動の様子を伝えていった。クラス懇談会では保護者の方と園の保育教育で大切にしていることや子どもの育ちを共有し、保育参加の際には、「心の根っこを育む子育て」についての保護者講演会を行った。</li> <li>・朝夕の送迎時や個人懇談等で保護者に園での様子を伝え、個別に子育ての悩みを聞きながら共に子育てについて考えていった。</li> <li>・地域支援事業の園庭開放や行事は、子育ての悩みの相談の場、つながる場になっている。クレヨン教室では、親子で触れ合い遊びやかかわりを少人数で経験することで、保護者の子育ての自信になっている。また、園の子どもたちが地域へ当番活動に行き地域の保護者の方にもほめてもらうなどかわりが増えている。</li> </ul>
インクルーシブ教育保育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団の中で、子ども理解を深め、どのような支援が必要か教育相談や児童発達支援センターからのアドバイスを活かし、一人一人に適した支援を行い集団の中で共に育ち合う教育保育を行った。特性を持ち味として捉えていき、「いいところ」「好きなこと」を子どもたちが知り合えるよう活動を行った。</li> </ul>
職員の資質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アドバイザー派遣研修では「一人ひとり自信をもって活動し、違いを認めつながるなかまづくり」という今年度のテーマに基づき講師を招き、具体的な支援や保育教育を学んだ。</li> <li>・教育保育環境ガイドラインを使い、公開保育をすることで職員の学び</li> </ul>

	<p>や気付きにつなげ、保育を見直す機会とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権研修では、①クラスの実践報告②「優しい日本語講座」を受けて気づいたこと③「私の中の差別意識—部落問題から考える」の動画を視聴しての気付きを行い、職員間の意見交流をする中で気付きを深め自分に問い直しをすることで人権感覚を高めていけるような取り組みとなった。</li> </ul>
幼保こ小中の連携・接続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊南小学校の教員が、園の見学に来られ、就学前での学びと就学後での学びの接続について、気付きを話し合う機会を持った。</li> <li>・幼保こ小校区連絡会において、就学に向けて子どもの情報を交換し接続に向けて共通するところなどを具体的に話し合った。</li> <li>・近隣の就学前施設との交流も行った。わかば保育園の訪問、遊びの交流(4歳児)、高川こども園とプール交流やサウンドスクール招待(5歳児)などを行い、子どもたちの活動意欲の向上や、就学に向けての不安解消につながった。</li> </ul>
評議員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評議員会は、子ども達の様子を見ていただくことで、こども園の存在の大切さをご理解いただき、地域と共に子ども達を見守り育てていく機会とした。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の高齢者施設へ子ども達の作品を届け、高齢者の方から折り紙の作品をいただく交流や、太鼓の演奏会に来ていただく交流ができた。</li> <li>・校区の敬老のつどいに参加し、歌やダンスを披露することで地域の高齢者の方と交流ができた。</li> <li>・隣接する豊南会館で豊南福祉委員会主催夏祭りが開催され、5歳児が招待され地域の方と交流することができた。</li> <li>・保護者会主催の「ハッピー秋祭り」が開催され、保護者が協力して準備開催が行われ保護者の交流、つながるきっかけとなった。</li> <li>・おはなしポケット(ボランティア読み聞かせグループ)や、人形劇(ボランティア)の活動を行うことで、色々な方と出会える機会となった。</li> </ul>

○今後取り組むべき課題（重点的に取り組むべき課題）

課 題	具体的な取り組み方法
幼保こ小中の連携・接続	<p>校区の繋がりを深めていく。就学前施設の交流を、子ども、大人共に進めていく。小学校への架け橋として、小学校教員、園職員が共に子どもの姿を知り合い、架け橋期の育ちを共通認識できるような交流を進めていく。</p>
子育て支援	<p>今年度の保護者アンケートの「子育ては楽しい」に関して 93.7%の方が「思う」「やや思う」と回答されていた。「相談者はいる」に対して「あまり思わない」と回答された方が 10.4%おられた。日々の子育てを前向きな気持ちで向き合えるように、子どもの育ちを保護者と共に喜び合い、悩みに寄り添い一緒に考えていく懇談会や、保育参加の工夫を取り組んでいく。</p>

令和7年（2025年）3月31日

豊中市立 豊南西こども園

園長名 松田 恵